

経口用セフェム系抗生物質製剤

日本薬局方 セフカペン ピボキシル塩酸塩細粒

セフカペンピボキシル塩酸塩細粒小児用10%「CH」

1日投与量体重別早見表

効能・効果

[小児]

〈適応菌種〉

セフカペンに感性的ブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌、モラクセラ（ブランハメラ）・カタラーリス、大腸菌、シトロバクター属、クレブシエラ属、エンテロバクター属、セラチア属、プロテウス属、モルガネラ・モルガニー、プロビデンシア属、インフルエンザ菌、ペプトストレプトコッカス属、バクテロイデス属、プレボテラ属（プレボテラ・ビビアを除く）、アクネ菌

〈適応症〉

表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、慢性膿皮症、咽頭・喉頭炎、扁桃炎（扁桃周囲炎、扁桃周囲膿瘍を含む）、急性気管支炎、肺炎、膀胱炎、腎盂腎炎、中耳炎、副鼻腔炎、猩紅熱

本剤1g中

セフカペン ピボキシル塩酸塩水和物
100mg（力価）を含有

用法・用量

[小児]

通常、小児にはセフカペン ピボキシル塩酸塩水和物として1回3mg（力価）/kgを1日3回食後経口投与する。

なお、年齢、体重及び症状に応じて適宜増減する。

〈用法・用量に関連する使用上の注意〉

本剤の使用にあたっては、耐性菌の発現等を防ぐため、原則として感受性を確認し、疾病の治療上必要な最小限の期間の投与にとどめること。

〈参考〉成人（嚥下困難等により錠剤の使用が困難な場合）

通常、成人にはセフカペン ピボキシル塩酸塩水和物として1回100mg（力価）を1日3回食後経口投与する。

なお、年齢及び症状に応じて適宜増減するが、難治性又は効果不十分と思われる症例には1回150mg（力価）を1日3回食後経口投与する。

体重	通常用量 1日投与量(分3)	
	細粒として	セフカペン ピボキシル 塩酸塩水和物として 3mg(力価)/kg/回 ×1日3回
4kg	0.36g	36mg
5kg	0.45g	45mg
6kg	0.54g	54mg
7kg	0.63g	63mg
8kg	0.72g	72mg
9kg	0.81g	81mg
10kg	0.90g	90mg
11kg	0.99g	99mg
12kg	1.08g	108mg
13kg	1.17g	117mg
14kg	1.26g	126mg
15kg	1.35g	135mg
16kg	1.44g	144mg
17kg	1.53g	153mg
18kg	1.62g	162mg
19kg	1.71g	171mg

体重	通常用量 1日投与量(分3)	
	細粒として	セフカペン ピボキシル 塩酸塩水和物として 3mg(力価)/kg/回 ×1日3回
20kg	1.80g	180mg
21kg	1.89g	189mg
22kg	1.98g	198mg
23kg	2.07g	207mg
24kg	2.16g	216mg
25kg	2.25g	225mg
26kg	2.34g	234mg
27kg	2.43g	243mg
28kg	2.52g	252mg
29kg	2.61g	261mg
30kg	2.70g	270mg
31kg	2.79g	279mg
32kg	2.88g	288mg
33kg	2.97g	297mg
34kg	3.00g	300mg